

PLAN(計画)

自己評価

事務事業番号	39
--------	----

事業区分	一般ソフト事業	事務事業評価の履歴				有
事務事業名	生産調整対策事業					
予算科目	6	款	1	項	3	目
予算事業名	農業振興事業					
総合計画での位置づけ	農業の恵みを守り、高める					
担当課	田園都市課	担当課長	川上 克彦			
事業担当者	笠 利恵		一次評価者	阿部 桂介		
事業の性格	自治事務					
法令根拠等	久山町農業振興事業補助金交付規則					
事業の対象	水田耕作農家、町内6農区					
事業の目的	国の生産数量目標配分面積を達成するため、米に代わる転作作物への円滑な推進を図り、耕作放棄地発生への抑制、安定した米の価格維持、転作による所得の安定を目指す。					
実施期間	開始年度	平成 23 年度から				
	終了年度	平成 年度まで				
事業の内容	生産数量目標を達成した場合、転作実施農家・生産数量の調整のとりまとめ業務を行う各農政区に対し補助金を助成する。					
目的達成の指標	区分年度	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31年度
	目 標	ha	39	39.4		
	実 績	ha	38.9	38.5		
指標設定の考え方	久山町水田農業推進協議会地域作付ビジョンによる転作作物・新規需要米(飼料用米・加工用米)の作付面積					
事業遂行時懸案事項等	国の生産数量目標配分・米の交付金が平成29年度で廃止となるが、来年度以降は国に代わり福岡県が補助金無しでの需給調整を行うことへの町民(農家)の理解					
事業実施時懸案事項対応等	来年度以降も需給調整を達成するため、各農家毎の主食用米に対する配分面積の説明、新規需要米(加工用米・飼料用米)等の作付転換について農区長会、水田農業推進協議会、農家集会等で説明を行う。					

PLAN(計画)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 580 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度予算	29 年度予算	30 年度予算	31 年度予算
事務量	① 人工数	0.17	0.17	0.00
	② 人件費単価	7,289	7,381	7,350
	③ 補助事業人件費			
	人件費(①×②-③)	1,239	1,254	0
事業費	直接事業費	3,300	3,860	0
	人件費	1,239	1,254	0
	合 計	4,539	5,114	0
財源内訳	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	その他			
	一般財源	4,539	5,114	0
合 計	4,539	5,114	0	

事業費計画

(千円)

区分/年度	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度	32 年度
目 標	3,300	3,860	0	0	
実 績	3,455	3,524			

事業活動の実績(活動指標)

※ 上段には目標値を、下段には実績値をそれぞれ記入してください。

項目	単位	28 年度	29 年度	30 年度	31 年度
転作作物(野菜・)	ha	16.0	16.4		
		16.0	17.1		
転作作物(花き・花木)	ha	5.0	5.6		
		5.6	5.1		
転作作物(飼料作物)	ha	3.0	1.9		
		1.9	1.9		
転作作物(景観作物)	ha	5.0	4.0		
		3.9	2.3		
飼料用米	ha	8.0	11.0		
		10.5	10.3		
加工用米	ha	2.0	0.5		
		1.0	1.8		
計		39	39.4		
		38.9	38.5		

DO(実施)

事務量及び財政内訳

町民一人当たり負担額 542 円
 ※負担額には国費・県費は含まれていません(千円)

項 目	28 年度決算	29 年度予算	29 年度決算	
事務量	① 人工数	0.17	0.17	0.17
	② 人件費単価	6,768	7,381	7,381
	③ 補助事業人件費		0	
	人件費(①×②-③)	1,150	1,254	1,254
事業費	直接事業費	3,455	3,860	3,524
	人件費	1,150	1,254	1,254
	合 計	4,605	5,114	4,778
財源内訳	国庫支出金		0	
	県支出金		0	
	地方債		0	
	その他		0	
	一般財源	4,605	5,114	4,778
合 計	4,605	5,114	4,778	

実施備忘録

自己評価	評価者	笠 利恵
------	-----	------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ←→ 小 1 ↓

1. そもそも必要な事業か？	評点	判定
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	B
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	3	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	4	
<input type="checkbox"/> 町民生活や町のイメージアップの向上に寄与する。	4	
2. 町が実施する必要があるか？		
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	5	A
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
<input type="checkbox"/> 民間等や国・県で実施するよりも効果的である。	5	
<input type="checkbox"/> 民間等あるいは国や県で類似事業を実施していない。		
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	A
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	3	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	5	B
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	1	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	B
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性	見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 重点化 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 事業完了	<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫 <input type="checkbox"/> 事業の効率化 <input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化 <input checked="" type="checkbox"/> 事業縮小 <input type="checkbox"/> その他

4. 自己評価の理由(必要性、有効性、効率性、公平性・透明性の観点から)

平成29年度は生産数量目標98.3haに対し主食用米は89.9ha、国の生産目標を遵守し過剰作付がされていない状態である。
 また、転作作物の作付も年々定着している状態である。
 町民(農家)のニーズが高く、農業の担い手確保、久山の田園風景(農業環境)の保全および耕作放棄地の発生防止のためにも本事業は必要と考える。

5. 成果実績の評価(今後の方向性等について具体的に)と課題認識

平成29年度で国の米に対する交付金が廃止される。
 今後、米作農家の水田が米を作付けせず、自己保全管理(休耕)が増加する懸念がある。
 従来の補助金は、需給調整に協力した転作作物を作付けした農家に対しての交付であったが、来年度以降は補助金の交付単価等を見直し、米作農家に対しても交付金を助成する必要がある。

CHECK(評価)

自己評価を基に基本施策の進捗状況と照らし合わせて評価を行う。

一次評価	評価者	阿部 桂介
------	-----	-------

5段階評価で評点を付けます。
5 大 ↔ 小 1 ↓

項目	評点	判定
1. そもそも必要な事業か？	4	A
<input type="checkbox"/> 町民のニーズが高い。ニーズが増加傾向である。	4	
<input type="checkbox"/> 緊急性が高く、即時に実施しなければならない。	4	
<input type="checkbox"/> 実施しなければ町民生活に及ぼす影響が大きい。	5	
2. 町が実施する必要があるか？	5	A
<input type="checkbox"/> 町が実施主体となることが法令等により定められている ※該当する場合は左の口にチェックしてください。	5	
<input type="checkbox"/> 公権力行使、あるいは政策判断を伴い、民間等では実施できない。	4	
3. 実施内容は適切か？		
①有効性		A
<input type="checkbox"/> 久山町総合計画基本計画の将来計画を実現するために有効な事業である。	5	
<input type="checkbox"/> 事業の手法・活動内容は適切である。	4	
<input type="checkbox"/> 事業の成果達成状況や進捗状況は順調である。	5	
②効率性		B
<input type="checkbox"/> 事業費に見合った成果を上げている。	4	
<input type="checkbox"/> 外部委託等(指定管理者を含む)による効率化が図られている。	3	
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫により効果を維持しながらコスト削減を図っている。	4	
③公平性・透明性		B
<input type="checkbox"/> 受益者負担について課題はない。(または、受益者負担を求めることが適当でない。)	5	
<input type="checkbox"/> 事業費に占める一般財源の額は妥当である。	4	
<input type="checkbox"/> ホームページや広報を活用し、積極的に情報を公開している。	3	

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了

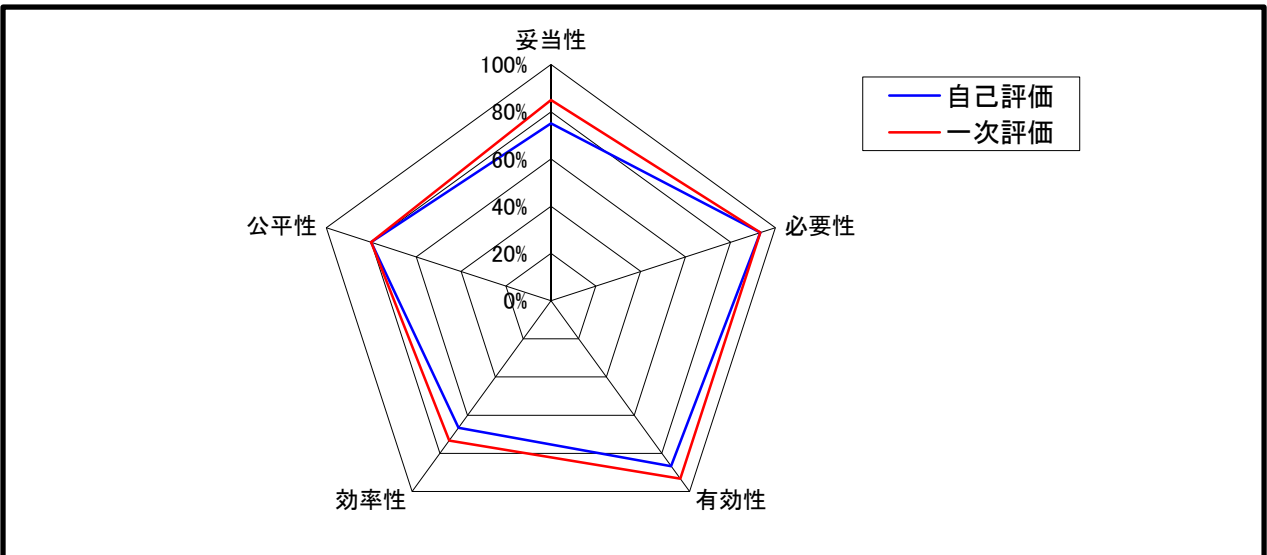


見直しの具体的な内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

一次評価の理由(今後の方向性等について具体的に)

米価安定のため米の需給調整に協力した農家に対しての補助は妥当と考える。平成30年度からは国が指導しての米の需給調整は無くなるが、各都道府県単位で需給調整が行われ当町も引き続き県の指導に基づき需給調整を行っていくため引き続き30年度以降も事業を実施する。

自己評価・一次評価の傾向



ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

二次評価	評価者	川上 克彦
------	-----	-------

- 一次評価結果により、以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を進める。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断する。

農地を保全するためにも必要である。

- 一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。

- 一次評価は以下の点で問題がある又は判断されるため、一次評価の見直しを求める。



一次評価をやり直し、
月 日
までに事務局へ提出すること。

- 住民サービスに直結する主要事業のため、評価そのものを外部評価委員会に諮ることとする。

- 一次評価結果のとおり事業縮小と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。



外部評価委員会で評価する。
月 日
開催予定

- 一次評価結果のとおり事業廃止と判断し、外部評価委員会に諮ることとする。

評価終了
 外部評価へ

事務事業の改善案

手段	
内容	

ACTION(評価・改善)

自己評価、一次評価、二次評価の結果を踏まえ、実施体系の進捗状況と照らし合わせ評価を行う。

外部評価

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

外部評価委員の意見

--

経営者会議

経営者評価	
-------	--

今後の方向性
<input type="checkbox"/> 重点化
<input type="checkbox"/> 現状のまま維持
<input type="checkbox"/> 見直し
<input type="checkbox"/> 廃止
<input type="checkbox"/> 事業完了



見直しの具体的内容
<input type="checkbox"/> 実施方法の工夫
<input type="checkbox"/> 事業の効率化
<input type="checkbox"/> 受益者負担の適正化
<input type="checkbox"/> 事業縮小
<input type="checkbox"/> その他

評価	
----	--

経営者会議の評価

--